



信楽高原鐵道への支援の継続

- 信楽高原鐵道は、平成 25 年度に鐵道事業再構築実施計画に基づき、上下分離方式へ転換し、収支均衡を図りながら、安全・安定した運行を維持してきたところである。
- 同計画期間は令和 4 年度をもって終了するが、信楽高原鐵道は県南部地域の住民生活や産業活動を支える重要な公共交通機関であり、今後も存続させる必要があることから、計画終了後も確実な支援・予算措置を継続されたい。

【提案・要望先】財務省、国土交通省

1. 提案・要望内容

(1) 信楽高原鐵道に対する鐵道事業再構築実施計画期間終了後の確実な支援・予算措置の継続

- 長引くコロナ禍の影響により、厳しい経営環境に置かれている信楽高原鐵道に対して、計画期間終了後も確実な支援・予算措置を継続

(2) 鐵道事業再構築実施計画期間の延長または次期計画の策定ができる仕組みの創設

- 現行制度においては、計画期間の延長が認められていないが、現下の地域鐵道の状況を鑑みれば、計画期間が終了しても依然として経営が十分に改善されず、引き続き国や自治体の支援が必要となることも想定されるため、計画期間の延長または次期計画の策定ができる仕組みを創設

2. 提案・要望の理由

- (1) 平成 25 年 4 月から令和 5 年 3 月までの 10 年間、信楽高原鐵道(株)、甲賀市、県は鐵道事業再構築実施計画を策定し、同計画に基づいて上下分離方式へ転換（信楽高原鐵道(株): 第二種鐵道事業者 甲賀市: 第三種鐵道事業者）するなど、収支均衡を図り、安全・安定した運行を維持。甲賀市は、同計画に基づき、国庫補助金（鐵道軌道安全輸送設備等整備事業等）の優先的な配分等の支援を受けてきた。

同計画期間が令和 4 年度に終了し、それに伴い予算の優先配分の対象外となるため、令和 5 年度以降は地域の負担が増加する見込みであり、信楽高原鐵道の運行維持に支障を来すおそれがある。

- (2) 鐵道事業再構築実施計画の計画期間が終了しても、経営が十分に改善されず、引き続き国や自治体の支援が必要となる場合が想定される。特に信楽高原鐵道は、計画期間中にコロナ禍となり、経営努力では対応し切れない状況となっている。

(本県の取組状況と課題)

【信楽高原鐵道の沿革】

- ・昭和 62 年 信楽高原鐵道株式会社創立（第三セクター方式）、JR 信楽線を引き継ぎ信楽高原鐵道開業
- ・平成 3 年 **列車衝突事故発生**（死者数 42 名 重軽傷者数 614 名）
→ **人的・物的・經營的に壊滅的な打撃を受け、それまでの黒字經營から赤字經營に転落。** 県を含む全出資者で総額 3 億 3,200 万円の資本金増資を引き受け、資金運用益による經營基盤の確立を図った。
- ・平成 24 年 信楽高原鐵道(株)：県と甲賀市を相手方として特定調停申し立て
調停内容：①**被災者補償貸付金の債権放棄（滋賀県：約 9 億 5 千万円、甲賀市：約 5 億 3 千万円）**
②**県は、鐵道事業再構築事業実施のための基金（6 億円）を積立**
- ・平成 25 年 3 月 **国土交通大臣：鐵道事業再構築実施計画を認定、特定調停成立**
4 月 公有民営の上下分離方式による運行開始
9 月 **台風 18 号による被災により全線運休**（バス代行）→ 平成 26 年 11 月に運行再開（令和 5 年 3 月 31 日 鐵道事業再構築実施計画の終了）

【鐵道事業再構築実施計画の概要】

申請者	甲賀市、信楽高原鐵道(株)、 滋賀県	実施期間	平成 25 年度から令和 4 年度までの 10 年間
計画内容	①事業構造の転換【上下分離方式】 （甲賀市：鐵道施設を保有し施設維持管理費用を負担、信楽高原鐵道：列車を運行） ②地域による利用促進策の実施		
実施効果	①信楽高原鐵道における鐵道施設等の維持管理費用の負担軽減 ②地域と連携した積極的な增收施策等の展開による、収支均衡と安全で安定した運行の維持		

【計画に伴う主な取組】

○ 安全な輸送サービスの提供

甲賀市：枕木交換、橋梁塗装、軌道改良、落石防護柵の更新
信楽高原鐵道(株)：旅客輸送業務、鐵道施設等の保守

県：施設整備・保守管理に伴う支援

→ **計画期間中約 5.9 億円を甲賀市に対して支援**

○ 鐵道の利用促進

- ・NHK 朝ドラ「スカーレット」と連携した観光誘客
- ・甲賀忍者をテーマにしたラッピング列車の運行
- ・クラウドファンディングを活用した駅ラッピング
- ・陶製干支切符の販売
- ・アプリを利用した乗車券の販売
- ・ひな祭り列車の運行

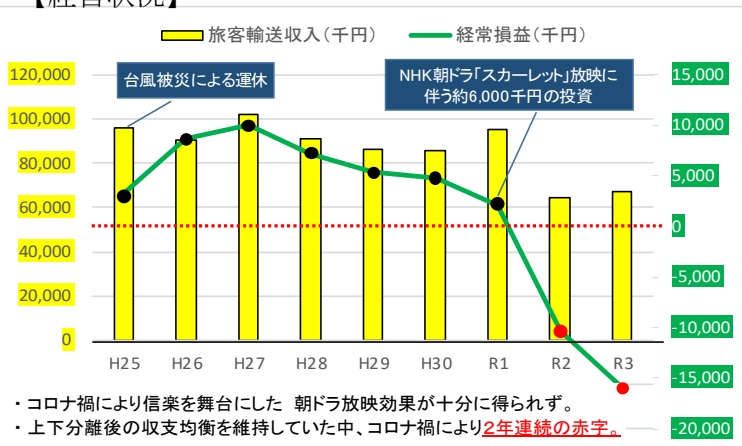


「スカーレット」ラッピング列車



陶製干支切符

【經營狀況】



	H29	H30	R1	R2	R3
利用者数(千人)	425	417	438	314	332
旅客輸送収入(千円)	86,565	85,641	94,978	64,649	67,348
經常損益(千円)	5,358	4,790	2,148	-10,406	-15,906

担当：土木交通部交通戦略課
広域鐵道ネットワーク係
TEL 077-528-3684